

# 京都中・右京健康友の会 第29期定期総会

2015年6月21日 京都アスニー

総会には、来賓、近隣の友の会代表を合わせて149人が参加しました。藤原会長は主催者挨拶で、来賓参加、祝辞へのお礼を述べ、「戦争法案」の廃案に向け力を合わせようと呼びかけました。

友の会活動では、入会金だけの制度へ移行し、民医連事業所との共同の取り組みで会員が増え、医療懇談会、健康トレーニングなど、活動が多面的に広がっていることを紹介。そして、今年から、総会は純然たる会議とし、12月に「文化のつどい」を開催すると発表しました。

友の会をさらに大きくして、中央病院のリニューアルを支え、より良い医療・介護、社会保障の充実をめざし頑張ろうと訴えました。

中央病院の吉中丈志院長が「リニューアルと地域医療」と題して記念講演。3つの活動報告のあと、総会議案を採択し、新役員を選出。総会決議を採択して閉会しました。

## 記念講演 (要旨)

### リニューアルと地域医療

吉中 丈志 京都民医連中央病院 院長

右京診療所から右京病院へ、そして、中央病院に発展し、大きな試練もあつたが克服し、現在を迎えています。中央病院の使命は、「患者の立場に立って、親切でよい医療を行い、力をあわせて地域の人々の生命と健康を守る」ことです。2017年から のリニューアルは目的ではありません。手段です。民医連綱領の実現に向けた理念は、「安全安心の医療」「患者本位の医療」「開かれた医療」であり、中央病院はこの理念を大切にし、これからも医療活動を進めます。

リニューアルのビジョンは、「京都市西北部の地域医療を担い、地域包括ケアを支援する民医連立の急性期・教育病院」を実現することです。

政府による医療再編計画や保険制度の改悪と闘いながら、友の会、職員をはじめ近隣の医療機関、地域の医師会などとも話し合いながら進めたい。リニューアルを全職員、共同組織が団結し、地域の力で成し遂げましょう。